

議事録署名人：毛塚陽康

書記：花田諭

議事進行：清水基允

参加者（出席者, 委任者に委）

最高顧問 稲川素子 顧問 山田博明 富田圭潤

顧問弁護士 正田光孝 顧問税理士 池田奈智

清水基允 中嶋秀樹 森脇健司

大下修弘 井川まゆみ 委 樋口暢哉

花田諭 西尾浩一 木下聡明 近藤誉仁

委 朝増拓哉 貫名強

山崎博道 加治屋貴士 上脇友季湖 委 片山雄暉 毛塚陽康

小林恒路 橋本悠 増山誠記 松岡佑紀

末安祐一郎 小野晃歳 新井健伊稚 委 石川浩之

斉藤達哉 委 菅野純代

正藤隆史 荒木康孝 三信真樹

浅村慎太郎 鈴木隼

【各選手会からの現状報告】

●EJBDF選手会長 清水基允より

休業要請、休業補償のシステムについて本部より選手会に情報がきたので共有した。
給付金、助成金、休業協力金、借り入れの仕方、無利子貸し付けなどについての情報。
7月までの競技会は延期、中止。日本インター、選手会のフェスティバルも中止。

●JCDC会長 森脇健司より

JDCからそれぞれの立場に沿った救済についての情報共有が行われた。
そこから先は個々にという状況。
前期の競技会が全て中止決定。danceGALA 2020も中止。

●JPCL会長 中嶋秀樹より

JCFの中で情報収集と共有を図ろうとしている。
選手会内でもZoomで会議を行い、自分達が受けられる支援について調べるなどしている。
5月までの競技会中止が発表された。6月以降は調整中。

●JBDF北海道 鈴木隼より

休業要請が出始めている。スタジオによっては営業の自粛をしている状況。

【各部報告】

●経理部（正藤隆史部長）

①経費の精算については、振込で対応します。

振込先と金額について正藤まで、領収書は池田先生へ送ること。

●総務・統括部

総務担当：花田諭

① 新型コロナウイルスの影響に関するアンケート集計結果報告

統括担当：西尾浩一

① アンケートフォームを流すなど、会員連絡業務を行いました。

●企画・事業部（山崎博道部長）

①DANフェス!2020の開催について再検討の余地あり。ホテルに関してなど。

→様子を見るべきではないか。

前回の会議を踏まえると全部で200名規模のイベントとなる。現状ではこの規模のイベントについて考えられる状況ではない。

会場について、キャンセルをしても料金がかからない場所はなかなか厳しい。小さなホールでミニデモとトライアル主体として、チケット代は10,000円くらいのイメージ。

100名が入ったとして、チケット代と出演料などの収入と人件費，会場費とのバランスを考えると難しい。

今年の開催についてどう考えるべきか。

経理的に考えると、このまま会議がウェブで行われ交通費がかからない状況であれば経費が抑えられるので1～2年は持ちこたえられる。現状3密に引かかるパーティーは控えるべきでは。

現状は保留とした方が良いのでは。

もし開催する場合は会員の先生方の繋がりなどを頼らせていただきたい。（どこかのスタジオをお借りするなど。）

ポスター等を作成しなくて良いのであれば、2ヶ月あれば内々のパーティーは開催可能。ある程度の規模を考えるのであれば、5月中には判断をしなければならない。

同じ日に地域毎に開催するというアイデアはどうだろうか。プロのショーについては、チームマッチではなくソロデモにしてしまう。

賛助会員の方々の予定という問題もあるので、早くお伝えしなければならないのでは。自分達の準備が可能かという都合だけで決めるのは良くない。

➡完全オンラインで企画を成立させることは考えられないだろうか。今の状況でも活動を止めずに出来ることをやるべきでは。各スタジオを中継で繋いでアマデモをやることもできるのでは。

5月6日の緊急事態宣言の期間の後あたりにもう一度会議を行うが、それまでに各自企画を練るようにするということで決定。

賛助会員向けに動画をサービスとして付けるなど、ケアをした方が良いのではないかな。
→新たに撮るよりは、過去の映像を編集して使うの方が現実的。
→峰先生、金光先生が1回目、2回目を撮影していた。直近のものは問題なく手に入るはず。

心配なのは音楽の著作権の問題。

賛助会員の方向けにYouTubeの限定公開のURLを送るのであれば、気にしなくて良くなるのではないかな。

→パーティーのデモンストレーションの映像は出せないだろうか。やはり著作権が気になるところ。

DANフェス!2020を開催するかしないかに関わらず考えた方が良い案件。普段見ることのない選手のデモンストレーションを見られるというのは特権として良いのではないかな。その場合は期間限定の公開というルールにする。

→スタジオでの普段の練習映像の方がむしろ喜ばれるのでは？

引き続き検討を重ねる。

●渉外・広報部(末安祐一郎部長)

月刊ABDCを発行しました。

●監査(大下修弘監査役)

特にありません。

【その他】

●新型コロナウイルスの影響に際して、東京都からの休業要請対象に入っていない状況であったこともあり、アンケートの集計結果を使ったり、署名活動を行うなどしたり、何かダンス界としてできることはないだろうか。

今後ABDCとして何ができるか、何をすべきかを話し合っていきたい。

顧問弁護士の正田先生や、顧問税理士の池田先生、最高顧問の稲川さんの持っている人との繋がりなどを使って何かできないだろうか。

この時期だからこそ、NDCJとして一つになって動いていただくようにできないだろうか。

7月まで軒並みイベントは中止になっている状況。

現場の声を上部組織にあげていくと良いのでは。

例) 公民館は今回の騒動が終わった後もレッスン場所として貸すことができないと言われた事例がある。

アンケートの集計結果は取り急ぎ今後のことを考えていくにあたり、上部組織にも共有をすることで材料としていただく。

NPO法人社交ダンス文化振興会にも集計結果を共有し、データ分析を行いその結果も上部組織にお伝えする。

給付金などについては都道府県別に異なる状況があるため、情報の共有には細心の注意が必要なのが難しいところ。

上部団体もそれぞれ情報収集、共有など尽力してくださっている。

各教室に勤めているスタッフに対するケアについて、スタッフが個人事業主の場合にできる金銭的なサポートなどについて、上部組織、選手会問わず情報の共有をしたい。雇用契約を結んでいるのか否かでも受けられるものが異なってくる。

業界としてスタッフ向けの労災保険への加入の有無など情報を集め、スタッフとして働いているダンサー達に少しでもケアをできるようにした方が良い。

●クラウドファンディングについて

選手会として何かポジティブなことを発信し、それに対してサポートを求める方向で企画を次回会議まで考えましょう。

●NDCJ管理委員会報告

未開催につき報告なし。

●NDCJ競技委員会報告

未開催につき報告なし。

●5/25 NDCJ管理委員会出向メンバー選出 清水，中嶋，森脇

次回会議予定 5月6日 13:00よりZoomにて

議事録署名人

毛塚陽康 